

2025年度（2026年3月期） 第1四半期決算 補足説明資料

DNP

未来のあたりまえをつくる。

2025年8月8日
大日本印刷株式会社

【2025年度第1四半期決算概要】

DNP

(単位：億円)

	2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	増減率	2025年度 業績予想	進捗率
売上高	3,566	3,661	+2.7%	15,000	24.4%
営業利益	184	229	+24.6%	940	24.4%
経常利益	256	282	+10.2%	1,050	26.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	632	453	▲28.4%	900	50.4%

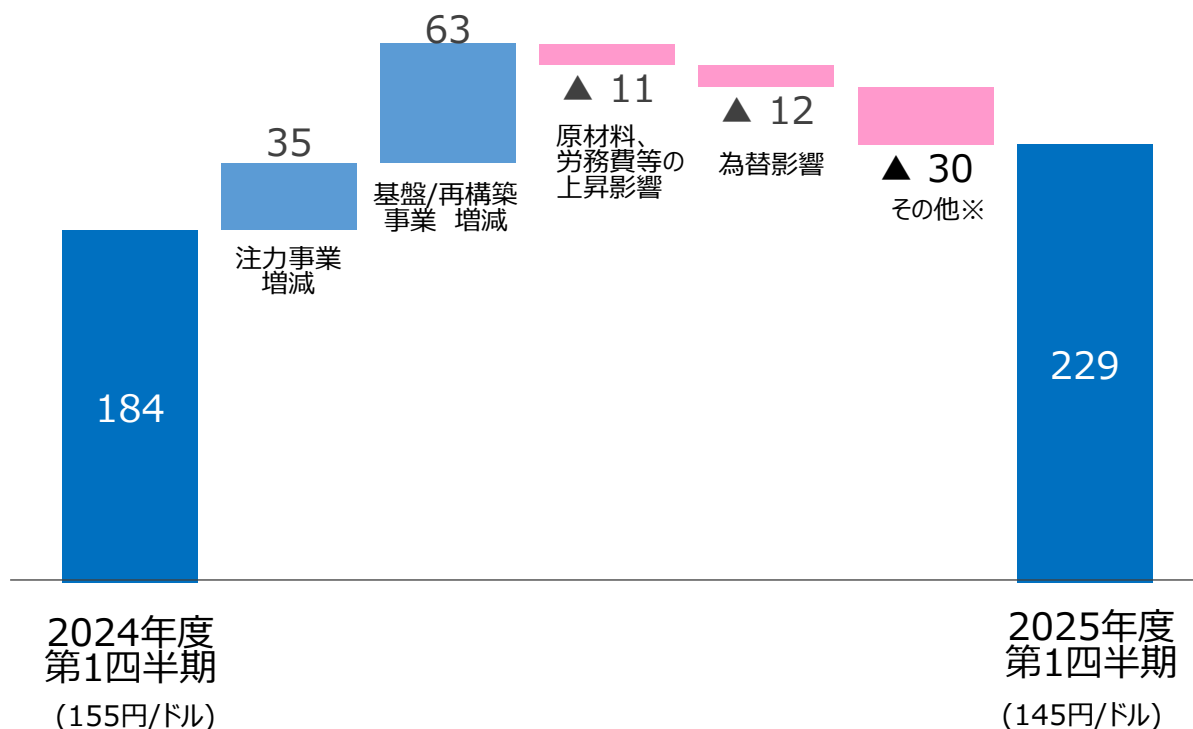
設備投資額	126	144	+13.5%	800	18.0%
研究開発費	92	100	+9.1%	390	25.8%
減価償却費	126	113	▲10.9%	500	22.6%

2025年度の概況

- ✓ 注力事業領域を中心とした新しい価値の創出を加速し、売上高は前年から増加
- ✓ デジタルインターフェース関連を中心とした注力事業の拡大や、事業構造改革が着実に寄与し営業利益は前年から増加
- ✓ 営業外損益は円高進行による為替差損がマイナス要因となったものの、経常利益は前年から増加

2025年度第1四半期 営業利益増減要因

(単位：億円) **DNP**



2025年度の概況

- ✓ 注力事業は、光学フィルムや有機ELディスプレイ製造用メタルマスクが好調だったほか、リチウムイオン電池用バッテリーパウチが車載向け、IT向けとも増加
- ✓ 基盤/再構築事業は、米国市場で写真プリント用部材が伸長したほか、情報セキュア関連においてBPOの大型案件が増収に貢献
- ✓ 出版関連の新会社設立など、構造改革も着実に寄与

※ 退職給付費用 (▲17)
システム基盤構築費用 (▲6)
その他セグメントに帰属しない調整額を含む

2025年度第1四半期決算概要：注力事業・基盤事業の概況

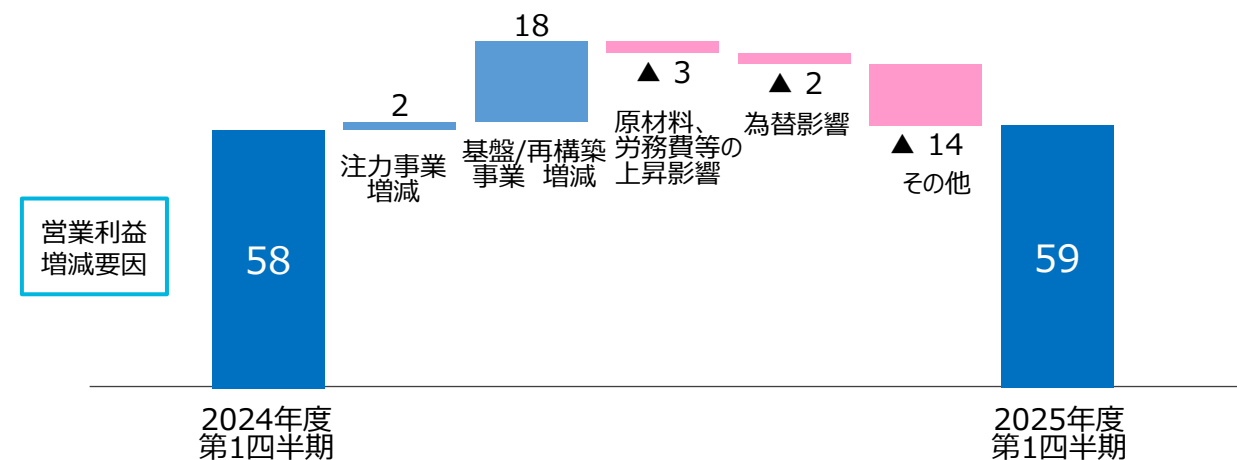
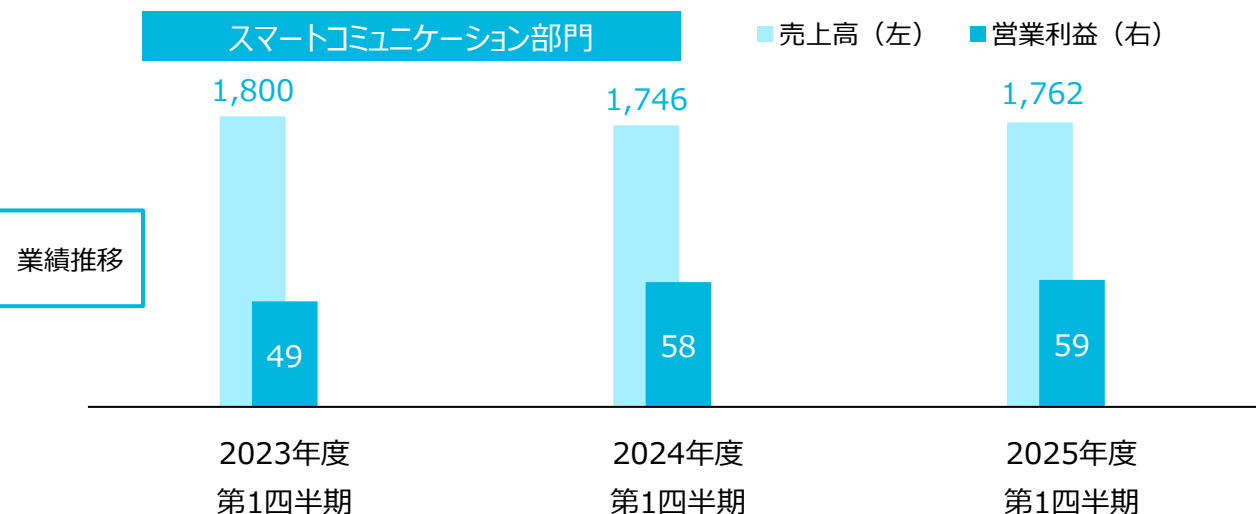
(単位：億円)

DNP

		2024年度 第1四半期	2025年度 第1四半期	概況 矢印は売上高の前年比	
スマート コミュニ ケーション 部門	セグメント 売上高	1,746	1,762	イメージング コミュニケーション関連	写真プリント用部材が米国で好調に推移したほか、IDカード用 インクリボンの販売が好調に推移し前年を上回った
	セグメント 営業利益	58	59	情報セキュア関連	ICカードの内、デュアルインターフェイスカードが減少したものの、 BPOの大型案件が寄与し前年を上回った
				コンテンツ・XR コミュニケーション関連	国内外で人気の知的財産(IP)を活用した巡回型イベントや 物販、日本発IPの海外展開など、新しい価値の創出に注力
ライフ& ヘルスケア 部門	セグメント 売上高	1,235	1,271	産業用高機能材関連	バッテリーパウチはIT向けが好調に推移したほか、車載向けも 得意先在庫調整が進み、前年を上回った
	セグメント 営業利益	47	95	モビリティ関連	自動車向け加飾フィルムの販売が好調に推移したほか、グループ 会社化した株式会社DNP光金属も計画通りに進捗
				メディカル・ヘルスケア関連	医療用パッケージが好調に推移したことに加え、国内における 製剤事業も堅調に推移し、前年を上回った
エレクトロ ニクス 部門	セグメント 売上高	589	634	光学フィルム	テレビ用パネルサイズ大型化にともなう出荷面積拡大を背景に 好調に推移し、前年を上回った
	セグメント 営業利益	136	139	有機ELディスプレイ 製造用メタルマスク	スマートフォン等でのOLEDパネル採用拡大や黒崎工場で生産を 開始した大型メタルマスクの開発需要増加により、好調に推移
				半導体関連	半導体製造用フォトマスクの出荷が堅調に推移したほか、EUV マスクやナノインプリントなどの最先端領域への事業展開に注力

【2025年度第1四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**



2025年度の概況

- ✓ イメージングコミュニケーション関連は、中長期的な市場成長を見込む写真プリント用部材が米国市場で好調に推移
- ✓ 情報セキュア関連は、ICカードが前年から減少したもののBPOの大型案件や万博関連が増加

政府向けID認証サービスを提供しているRubicon SEZC 社をグループ会社化し、グローバルへの取り組みを強化

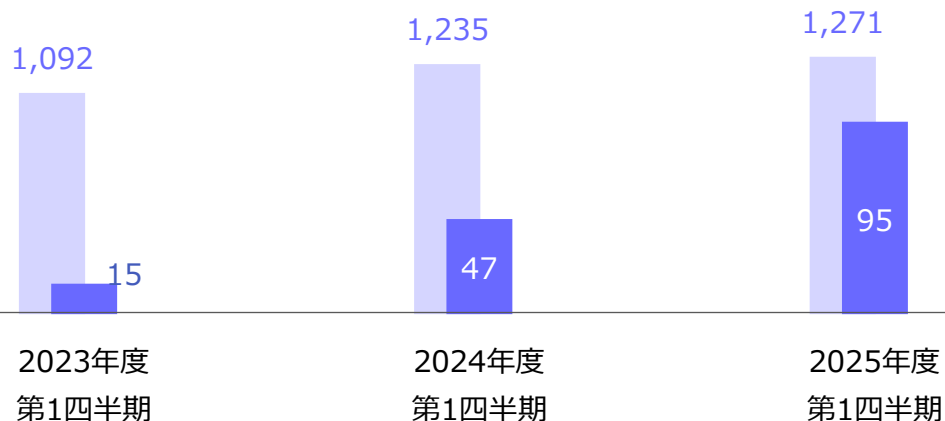
- ✓ 出版関連は、市場縮小トレンドは継続も事業構造改革が寄与し収益性が良化

【2025年度第1四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

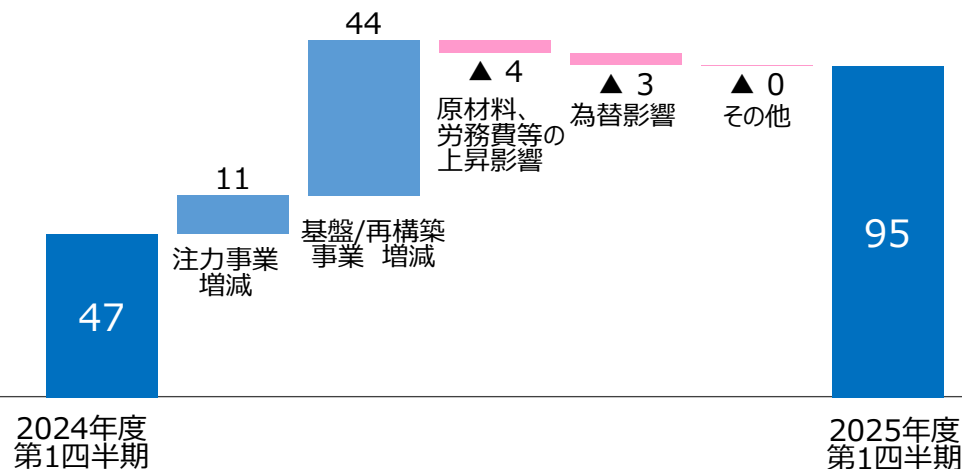
ライフ＆ヘルスケア部門

■売上高（左） ■営業利益（右）



業績推移

営業利益
増減要因



2025年度の概況

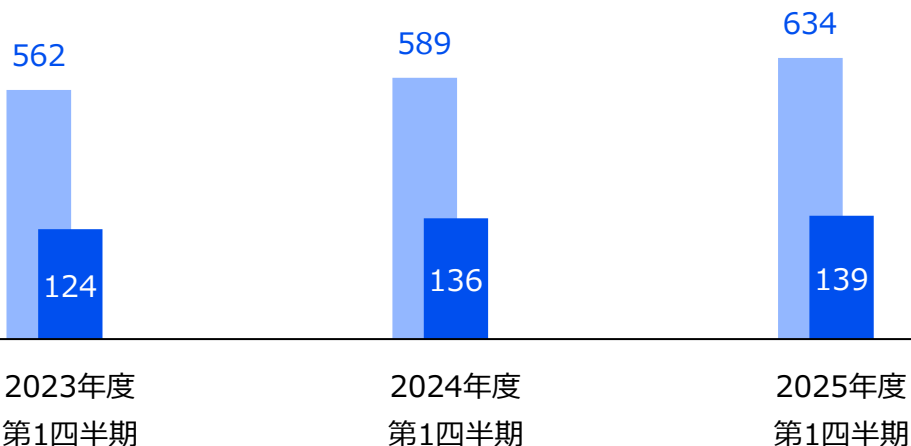
- ✓ 産業用高機能材関連は、リチウムイオン電池用バッテリーパウチがスマートフォンやタブレット端末等の新機種用を中心に伸長したほか、車載向けも得意先在庫調整が進み増加
- ✓ モビリティ関連は、自動車向け内装加飾フィルムが北米向けに好調に推移したほか、新たにグループに加わった株式会社DNP光金属が順調に進捗
- ✓ 包装関連は材料費や物流費の上昇基調は続くも、材料調達の見直しや生産性改善等による固定費の削減が寄与

【2025年度第1四半期決算概要】セグメント別業績

(単位：億円) **DNP**

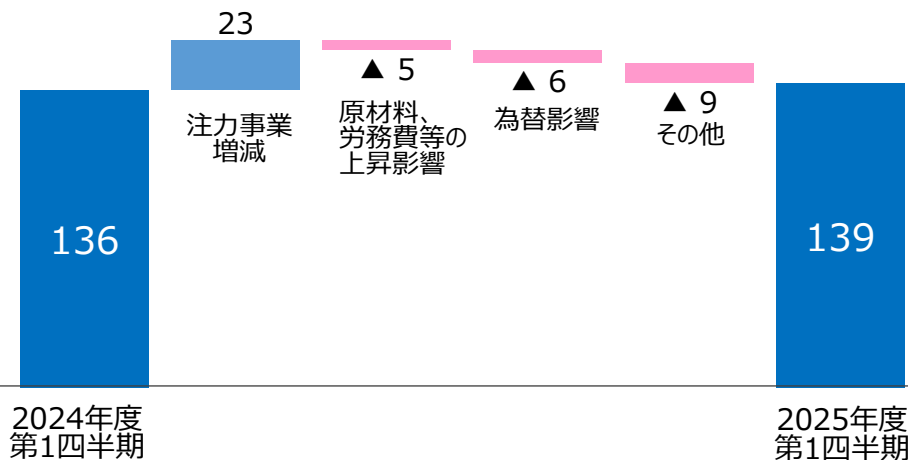
エレクトロニクス部門

■ 売上高 (左) ■ 営業利益 (右)



業績推移

営業利益
増減要因



2025年度の概況

- ✓ デジタルインターフェース関連は、有機ELディスプレイ製造用メタルマスクがスマートフォンの有機ELディスプレイ採用拡大や第8世代サイズのガラス基板に対応した大型メタルマスクの開発需要により前年から増加
- ✓ 光学フィルムは液晶テレビ用パネルの大型化にともなう出荷面積の拡大等により引き続き好調に推移
- ✓ 半導体関連は、市場の回復もあり堅調に推移

2025年度業績予想

(単位：億円) **DNP**

通期業績予想は変更なし

【全社】	2024年度 実績	2025年度 業績予想	増減率 (差)
売上高	14,576	15,000	+2.9%
営業利益	936	940	+0.4%
営業利益率	6.4%	6.3%	▲0.1pt
経常利益	1,159	1,050	▲9.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,106	900	▲18.7%
ROE	9.6%	8.0%	▲1.6pt

設備投資額	766	800	+4.4%
研究開発費	375	390	+3.8%
減価償却費	537	500	▲6.9%

【セグメント別】		2024年度 実績	2025年度 業績予想	前年差
スマート コミュニ ケーション	売上高	7,155	7,300	+145
	営業利益	346	330	▲16
ライフ& ヘルスケア	売上高	4,960	5,170	+210
	営業利益	237	280	+43
エレクトロ ニクス	売上高	2,477	2,550	+73
	営業利益	573	570	▲3
調整	売上高	▲17	▲20	▲3
	営業利益	▲222	▲240	▲18
合計	売上高	14,576	15,000	+424
	営業利益	936	940	+4

未来のあたりまえをつくる。

DNP

免責事項

本資料における業績予想及び中期的な経営目標等、将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの将来予想とは異なることがあることをご承知おきください。